平成25年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年11月９日

上場会社名　　ぷらっとホーム株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　6836　　ＵＲＬ　http://www.plathome.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）鈴木　友康
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）河南　邦男　　ＴＥＬ　03-5213-4376

四半期報告書提出予定日　　平成24年11月13日　　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　有
四半期決算説明会開催の有無　　：　有

（百万円未満切捨て）

１．平成25年３月期第２四半期の業績（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

（１）経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年３月期第２四半期	531	7.4	△168	－	△170	－	△183	－
24年３月期第２四半期	494	△29.6	△223	－	△225	－	△230	－

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年３月期第２四半期	△14,491.68	－
24年３月期第２四半期	△18,210.62	－

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年３月期第２四半期	2,083	1,821	87.4
24年３月期	2,288	2,007	87.7

（参考）自己資本　　25年３月期第２四半期　　1,821百万円　　24年３月期　　2,007百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
25年３月期	－	0.00			
25年３月期（予想）			－	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成25年３月期の業績予想（平成24年４月１日～平成25年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,250	11.1	△214	－	△218	－	△233	－	△18,372.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年３月期２Ｑ	13,588株	24年３月期	13,588株
②　期末自己株式数	25年３月期２Ｑ	906株	24年３月期	906株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年３月期２Ｑ	12,682株	24年３月期２Ｑ	12,682株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

２．四半期決算補足説明資料は、四半期決算説明会開催後速やかに東京証券取引所ホームページ（東証上場会社情報サービス）及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国の経済は、厳しい状況が続き、企業の生産の減少や設備投資の持ち直しの動きが鈍く、景気は弱い動きをしています。先行きについても、復興需要の継続に期待がかかるものの、欧州政府債務危機の影響による海外景気の後退や、にわかに浮上した中国との関係悪化などの経済的影響により、国内景気が下押しされるリスクが存在します。

当社の主要な販売品目である国内サーバ市場においては、特別な要因をもって伸長した前年同期に比べ、出荷金額、出荷台数とも減少しました。

このような状況において、当社は、独自性の高い自社製品であるマイクロサーバに継続して経営資源を集中しており、６月にはマイクロサーバの新シリーズを発表し、８月に出荷を開始しました。この結果、当第２四半期累計期間の売上高は531百万円（前年同期比36百万円・7.4％増加）と前年同期に比べ増加しました。販売費及び一般管理費は、マイクロサーバに係る研究開発費及び広告・販促費が増加しましたが、前期に実施した本社移転による家賃の減少等により、前年同期に比べ減少しました。また、マイクロサーバの治具・金型に係る工具、器具及び備品等について減損処理を行い、減損損失11百万円を特別損失に計上しました。この結果、営業損失は168百万円（前年同期は営業損失223百万円）、経常損失は170百万円（前年同期は経常損失225百万円）、四半期純損失は183百万円（前年同期は四半期純損失230百万円）となりました。

品目別の売上高動向につきましては、次のとおりであります。

（自社製品コンピュータ）

マイクロサーバについては、法人及び地方自治体に向けて新たな顧客の開拓を行い、またネットワーク運用に不可欠な各種機能を予め組み込んだアプライアンス製品の販売に努めました。新シリーズについては、出荷開始が８月と当初の予定より遅れ、出荷は多数の企業にわたるもののその多くが検証段階の製品購入となっております。しかし、一部は大手システムインテグレータの新たなクラウドサービスの機器として採用されるなど大口案件の先行的出荷がありました。この結果、マイクロサーバの売上高は前年同期と比べ増加しました。サーバ（ＩＡサーバ）・ストレージの売上高についても、既存顧客への継続した出荷があり前年同期と比べ大幅に増加しました。この結果、自社製品コンピュータ全体の売上高は前年同期と比べ増加し、売上高は246百万円（前年同期比77百万円・46.1％増加）となりました。

（コンピュータ関連商品）

オンライン販売サイトの売上が増加したものの、法人営業販売が大幅に減少し、コンピュータ関連商品全体の売上高は前年同期と比べ減少しました。この結果、売上高は236百万円（前年同期比31百万円・11.8％減少）となりました。

（サービス・その他）

マイクロサーバに係るサポートサービスについては、本体売上の増加により伸長しましたが、サーバ（ＩＡサーバ）・ストレージの延長保守サービスについては、大口の年間保守契約が継続して受注となったものの減少となりました。この結果、サービス・その他全体の売上高は前年同期と比べ減少し、売上高は48百万円（前年同期比9百万円・16.5％減少）となりました。

なお、上記の各品目に含まれるマイクロサーバに関連する売上高（本体、サポートサービス、オプション品など）は143百万円（前年同期比19百万円・15.6％増加）であります。（前年同期比の数値は参考値として記載しております。）

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期会計期間末の資産については、現金及び預金の減少209百万円等により、前事業年度末に比べ205百万円減少し、2,083百万円となりました。

負債については、買掛金の減少22百万円等により、前事業年度末に比べ19百万円減少し、261百万円となりました。

純資産については、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少183百万円等により、前事業年度末に比べ185百万円減少し、1,821百万円となりました。

なお、平成24年６月28日開催の定時株主総会における決議に基づき、平成24年８月３日付で、資本金395百万円、資本準備金603百万円、その他資本剰余金4,804百万円、利益準備金5百万円、別途積立金70百万円がそれぞれ減少し、繰越利益剰余金が5,878百万円増加しておりますが、これによる純資産の額の変動はありません。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ209百万円減少し、1,561百万円となりました。

当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税引前四半期純損失181百万円の計上やたな卸資産の増加による支出33百万円、仕入債務の減少による支出22百万円、前渡金の増加による支出41百万円等の支出要因のほか、売上債権の減少による収入44百万円等の収入要因がありました結果、営業活動により使用した資金は218百万円となりました。（前年同期は191百万円の使用）

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資事業組合からの分配金による収入12百万円等により、投資活動により獲得した資金は9百万円となりました。（前年同期は25百万円の使用）

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増減はありませんでした。（前年同期は資金の増減なし）

（３）業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間の業績を勘案し、平成24年５月11日付当社「平成24年３月期 決算短信〔非連結〕」において公表しました平成25年３月期通期業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成24年11月９日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,328	1,561,833
売掛金	174,593	130,359
商品及び製品	17,347	11,748
原材料	47,131	86,355
その他	125,575	138,142
流動資産合計	2,135,976	1,928,439
固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	124,577	106,971
その他	27,747	47,747
投資その他の資産合計	152,325	154,719
固定資産合計	152,325	154,719
資産合計	2,288,301	2,083,158
負債の部		
流動負債		
買掛金	134,965	112,872
未払法人税等	11,858	9,019
賞与引当金	17,482	18,598
製品保証引当金	1,909	1,727
その他	88,014	93,466
流動負債合計	254,230	235,684
固定負債		
退職給付引当金	18,018	17,409
その他	8,500	8,500
固定負債合計	26,518	25,909
負債合計	280,749	261,594
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,414,700	2,019,628
資本剰余金	5,566,781	158,329
利益剰余金	△5,803,523	△183,783
自己株式	△158,329	△158,329
株主資本合計	2,019,628	1,835,844
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△12,075	△14,280
評価・換算差額等合計	△12,075	△14,280
純資産合計	2,007,552	1,821,564
負債純資産合計	2,288,301	2,083,158

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	494,612	531,178
売上原価	344,517	358,495
売上総利益	150,095	172,682
販売費及び一般管理費	373,127	340,750
営業損失（△）	△223,032	△168,067
営業外収益		
受取利息	168	158
保険配当金	―	222
その他	161	227
営業外収益合計	330	608
営業外費用		
為替差損	808	629
投資事業組合運用損	1,766	2,366
営業外費用合計	2,574	2,995
経常損失（△）	△225,276	△170,455
特別損失		
減損損失	3,770	11,428
特別損失合計	3,770	11,428
税引前四半期純損失（△）	△229,047	△181,883
法人税等	1,900	1,900
四半期純損失（△）	△230,947	△183,783

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失（△）	△229,047	△181,883
減損損失	3,770	11,428
受取利息及び受取配当金	△238	△228
売上債権の増減額（△は増加）	113,851	44,234
たな卸資産の増減額（△は増加）	△23,266	△33,625
仕入債務の増減額（△は減少）	△70,780	△22,092
前渡金の増減額（△は増加）	4,684	△41,445
未収入金の増減額（△は増加）	△9,648	25,952
未払金の増減額（△は減少）	△957	△1,753
敷金及び保証金の増減額（△は増加）	－	△20,000
その他	23,465	4,661
小計	△188,167	△214,752
利息及び配当金の受取額	238	228
法人税等の支払額	△3,628	△3,828
営業活動によるキャッシュ・フロー	△191,556	△218,351
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△456	△3,054
無形固定資産の取得による支出	△384	－
投資事業組合からの分配金による収入	3,000	12,900
敷金及び保証金の差入による支出	△27,747	－
その他	－	△294
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,587	9,551
現金及び現金同等物に係る換算差額	△882	△695
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△218,027	△209,494
現金及び現金同等物の期首残高	2,086,095	1,771,328
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,868,067	1,561,833

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年６月28日開催の定時株主総会における決議に基づき、平成24年８月３日付で、資本金395,071千円及び資本準備金603,675千円を減少し、それぞれをその他資本剰余金に振り替え、その他資本剰余金5,803,523千円を繰越利益剰余金に振り替えるとともに、利益準備金5,400千円及び別途積立金70,000千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損てん補に充当しております。

この結果、当第２四半期会計期間末において、資本金は2,019,628千円、資本準備金は0円、その他資本剰余金は158,329千円、利益準備金及び別途積立金は0円となっております。

なお、株主資本合計金額には、著しい変動はありません。